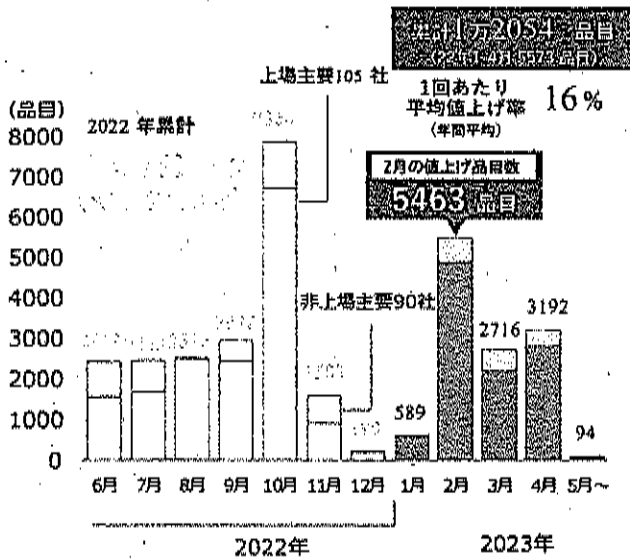


食品値上げ 今月 5463 品目

食品値上げの動きが止まらず、値上げは、5463品目に上り
 せん。上場・非上場の主要食品メ ます。家計への打撃が続きます。
 1カー195社で4月までに値 31日までに決定した23年中の
 上げする品目が1方を超えるこ 飲食料品値上げ品目数は、上場
 とが、民間信用調査会社の帝国 する主要105社で1方482
 データバンクが31日発表した調 品目でした。非上場の主要90社
 査でわかりました。2月単月の 2月単月の値上げ品目数は1572品

2023年の食品値上げ（1月31日15時時点） 品目数/月別



調査時点の食品上場 105 社のほか、全国展開を行う非上場食品 90 社を含めた主要 195 社の 2022-23 年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

今年4月までに1万品目超

目でした。この結果、年内の食品値上げは累計1万2054品目に達しました。このうち4月1日までの累計で1万品目を突破します。22年の値上げでは1万品目に到達するまでにおよそ7カ月かかりました。これにたいし23年は実施ベースで3カ月早く到達する見込みです。

2月単月の値上げは加工食品を中心に5463品目。22年以降の単月では最多の22年10月(7864品目)に次ぐ2番目の多さで、23年中では最多となります。

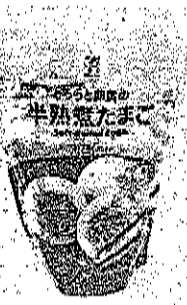
前年の主な値上げ要因だった円安は一服感があります。しかし、引き続き原材料価格の高止まりに加え、物流コストや輸入コスト上昇が続ぎ、製品価格に反映する動きが目立ちます。23年に予定される値上げ品目のうち、原材料高が理由となったものは99.5% (品目数ベース) となり、ほぼ全てで原材料高が理由にあげられました。

卵卸値 37年ぶり高値

J A全農たまご

J A全農たまご(東京)が31日公表した卵卸値の基準値(Mサイズ、東京地区)は、1キ当たりに前日比15円高の305円と、1月の価格としては1986年以來の高水準となりました。致死率

の高い高病原性鳥インフルエンザが採卵鶏の大規模農場で相次ぎ発生しているため。セブニーレブン・シャパンは同日、



セブニーレブン・シャパンが販売を休止した「セブニーレミアム半熟たまご」(同社提供)

卵を使った一部商品の販売を休止したと発表。影響が広がっています。

年間を通じて最高値で取引される例が多い12月の卸値を上回って推移する異例の事態となっており、昨年12月下旬の300円を上回りました。

今季、鳥インフルは例年より早く感染が確認されて猛威を振るっており、31日時点で25道県の計70例に上ります。殺処分数は約1235万羽で、このうち採卵鶏は1100万羽超です。

海外穀物市況の高騰や円安に伴い、餌となる配合飼料価格や電気代も上昇し、卸値を押し上げています。鶏卵関係者は「殺処分された羽数はま

鳥インフル相次ぎ発生 セブンは商品販売休止

だ回復しておらず、当面高値が続く」と指摘。例年3月までは鳥インフルの流行が続いており、関係者は需要と価格の動向を注視する考え。

鳥インフル流行の影響で業務用卵が供給不足に陥っており、セブニーレ

ブンは「セブンプレミアム半熟たまご」など約15品目の販売を休止しました。サンドイッチやサラダなど約10品目については規格を見直し、ゆで卵を減らしてハムや野菜など他の具材を増やしました。生卵の販売は継続するといえます。

ニコニコのり

不作で値上げ

ニコニコのり(大阪市)

の白羽清正社長は30日、東京都内で記者会見し、のり関連商品を値上げする方針を明らかにしました。具体的な時期や幅は2月にも発表します。包材費や燃料費に加え、国産ノリの仕入れ値が不作で高騰しているため、値上げは2019年6月以来となります。

同社によると、主産地の九州・有明海で、降水量の減少や赤潮、海水温上昇によりノリの品質が悪化。収穫量も減少し、ピーク時に100億枚前後あったのりの年間生産枚数は半分以下になる可能性があるといえます。白羽社長は「有明海で養殖が始まって以来初めての状況。値上げは不可避だ」としています。